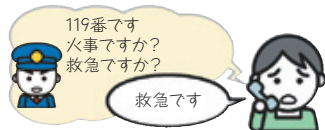


医療とのかき合い方
 付き合いかかりつけ医の
 休日・夜間の救急診療
 救急車の利用の仕方
 知っておきたい医療保険制度
 知っておきたい介護保険制度
 役立つふろく

●救急車の呼び方

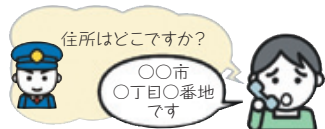
119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお聞きします。

119番通報の仕方 (あわてず、ゆっくりと教えてください)



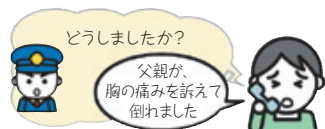
1 救急であることを伝える

・119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください



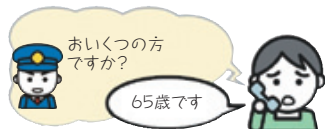
2 救急車に来てほしい住所を伝える

・住所は、必ず市町村名から伝えてください
 ・住所が分からない時は、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください



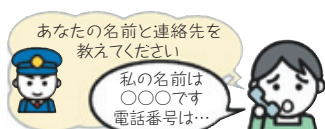
3 具合の悪い方の症状を伝える

・最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください
 ・また、わかる範囲で意識、呼吸の有無などを伝えてください



4 具合の悪い方の年齢を伝える

・具合の悪い方の年齢を伝えてください
 ・わからない時は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください



5 あなたのお名前と連絡先を伝える

・あなたのお名前と119番通報後も、連絡可能な電話番号を伝えてください
 ・場所が不明な時などに、問い合わせることがあります

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です
 ※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ医などについて尋ねられることがあります。答えられる範囲で伝えてください

救急車が本当に必要かどうか、よく考えてください

こうした適切ではないケースで救急車が呼ばれました

- ・風邪 ・日焼けしてヒリヒリする ・突き指 ・今日入院予定日だから
- ・病院でもらった薬がなくなった ・長く待つのが面倒だから など

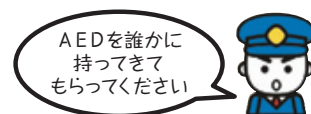


耳の不自由な方などは、FAX通報できます。
FAXも局番なしの119番

いざというとき困らないように、巻末の「我が家の連絡先」に、かかりつけ医や家族の連絡先を記入してご利用ください。

救急車が来るまでに

■応急手当てが必要な場合は、消防署員が電話で指示をしますので、落ち着いて、できる範囲で行ってください



■容体が急変したら、再度119番通報してください
 ■健康保険証や診察券を用意してください

救急車が到着するまでにはどうしても時間がかかります。いざというときのために、応急手当てを身につけておきましょう。

救急車が到着したら

■応急手当てをしている人以外に人手がある場合、救急車の音が聞こえたら案内人を出してください



■救急隊にこんなことを伝えてください
 ・事故や具合の悪くなった状況
 ・救急隊が到着するまでの変化
 ・行った応急手当ての内容
 ・具合の悪い方の情報(持病、かかりつけ医、普段飲んでいる薬など)
 持病、かかりつけ医などは、メモにまとめておくとう便利です。

救急車を呼んだら、用意しておく便利な物

- 保険証や診察券
- お金
- 具合が悪い方の靴
- 普段飲んでいる薬(またはお薬手帳)



(乳幼児の場合はこの他に)

- 母子健康手帳
- オムツ
- ミルク
- タオル



携帯電話からも119番通報できます ※次のことにご注意ください

- 近くに一般電話・公衆電話がある場合は、それらを優先して利用してください
- 運転中の場合は、安全な場所に停車してから通報してください
- 傷病者がいる場所の市町村名を伝えてください
 (電波状況などによって、他の市町村の消防本部へつながってしまうことがあります)
- あなたの携帯電話番号とお名前を伝えてください
- 通報後しばらくの間は電源を切らないでください
 (再確認のためにかけ直すことがあります)

出典：総務省消防庁「救急車を上手につかいましょう」